

1. 科目名 (単位数)	児童・家庭福祉論Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SJMP3101 SSMP2303 SCMP2303
2. 授業担当教員	田中良幸	5. 開講学期	秋期
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、演習、プレゼンテーションなどを取り入れた形態を重視する。		
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	急速に進む少子高齢社会に対応した児童や家庭に対する支援と今後の児童・家庭福祉のあり方について、児童・家庭福祉論で学んだ、子ども家庭福祉の原理、理念、権利保障、子ども家庭福祉にかかわる法制度、福祉・保健施策、子ども家庭への援助活動などを復習した上で、児童・家庭福祉論Ⅱでは、子ども家庭にかかわる福祉・保健政策について、とりわけ子どもの貧困など、グループでテーマを設定した上で、学習を進め、成果を発表する。併せて、社会福祉士国家試験に対応できる授業内容とする。授業の進め方は、授業開始時に分けたグループでの研究が基本となる。また、学生が授業運営に参画する度合いを増やす。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における子どもや家庭に対する支援の必要性、児童家庭福祉の制度の全体像を理解し、説明ができる。 ・グループでの研究を通じて、文献の読み方、資料の集め方、調査の方法を理解し、活用できるようにする。 ・グループでの研究を通じて、研究の目的、方法、結論、考察をいった手順を活用できるようにする。 ・グループでの発表を通じてプレゼンテーションの方法を身につける。 ・その他、文章の要約方法、社会に出た時に活用できる発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につける。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1 グループごとに研究テーマを設定して、テーマに基づき調査等を行い、授業毎にグループでの討議内容をまとめて提出する。最終講義日に各グループでは発表する。</p> <p>2 レポート課題はA4 2枚程度に、グループで研究した中身に加えて、自己の分析見解をまとめておく。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>特に指定しない。</p> <p>参考書 社会福祉士講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉論』第6班 中央法規出版 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房 東京福祉大学『保育児童福祉要説』中央法規出版</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少子高齢社会における子どもや家庭に対する支援の必要性、児童家庭福祉の制度の全体像を理解し、説明ができる。 2. グループでの研究を通じて、研究のスタイルを理解し、活用することができる。 3. 発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につけ、活用することができる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加 (調査・ディスカッション・発表) 総合点の40% 2. 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査・提出物) 総合点の30% 3. 課題レポート 総合点の30% 		
12. 受講生へのメッセージ	前半は講義グループ討議中心の形態から、後半では、グループを単位とした調査・研究・発表といった学生の自主性を活かした授業方式になります。各自の積極的な参加姿勢が大切です。さらに、グループ全員での取り組みが求められるので、健康に留意して欠席、遅刻はないように自己の生活管理が求められる。社会状況によりズーム授業となります。また、グループ活動についても授業中はズームでのグループとなる場合があります。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 授業の概要と進め方の説明 後半のグループ分けの説明	事前学習	シラバスに目を通しておく
		事後学習	オリエンテーションで説明された内容を確認する。教科書第3章「子ども家庭福祉に関わる法制度」を確認する。
第2回	子どもの権利条約を確認し、グローバル視点から見た日本の子どもの状況、子育て事情について確認する。日本の社会状況、子どもを取り巻く社会問題を検討して、課題について検討する	事前学習	教科書第1章「子ども家庭社会とは何か」
		事後学習	子どもの権利と権利条約の意味をまとめる。
第3回	子どもの置かれた社会的状況の特徴を確認する。子育て、子育てにおける日本の家族の現状と社会的課題。社会の中における子どもの居場所の変遷、子どもの社会との関わり方、対人関係の変化と権利擁護	事前学習	教科書第2章「現代社会と子ども・家庭」戦後日本での法的な変遷を確認する
		事後学習	子供の成長に必要な要素を確認する。
第4回	テーマ1：ヤングケアラー	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第5回	テーマ2：JK ビジネス	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第6回	テーマ3：子どもの虐待の形態と対応策	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。

		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第7回	テーマ4：医療的ケア児、障害を持つ子どもたちの現状と支援のポイント	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第8回	テーマ5：代理によるミュンヒハウゼン症候群 グループ活動：グループメンバー確定とテーマ選定	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第9回	テーマ6：「相対的貧困」 グループ活動：グループメンバー確定とテーマ選定	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第10回	テーマ7：リスクが高い状況「：精神疾患・不安定な精神的状態」 グループ活動：グループメンバーでの調査	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第11回	テーマ8：世代連鎖と毒親 グループ活動：グループメンバーでの内容検討	事前学習	定義、内容、課題を自分で調べておく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第12回	グループ活動：グループで集めた資料検討と討議 グループ活動：グループメンバー確定とテーマ選定 プレゼンテーション練習：パワーポイントの作り方	事前学習	各自で資料・法的裏づけをきちんと読んでおく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第13回	グループ活動：発表1 まとめ1	事前学習	各自で資料・法的裏づけをきちんと読んでおく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第14回	グループ活動：発表2 まとめ2	事前学習	各自で資料・法的裏づけをきちんと読んでおく。
		事後学習	教科書で関連する法を確認する。
第15回	授業のまとめ	事前学習	授業で何を学べたかを各自まとめておく。
		事後学習	グループ発表で得たことを確認しておく。
期末試験			